

# 同伴者のための観光プログラムガイド

プラハ!

プラハを訪れたことのある人なら誰でも  
その名前を永遠に忘れることはないでしょう  
ここは歴史を織り込んだ町です  
そして、私たちはここが大好きです  
さあ、いっしょに楽しみましょう!

Jaroslav Seifert (チェコの詩人)

ノーベル文学賞受賞者(1984年)

今回 COMPSTAT2004 を開催するにあたり、町のもっとも美しいエリアをそれぞれ半日で散策する 3 つのプログラムを用意しました。同伴者の皆さんにお楽しみいただくとう魅力的な散策コースにしたつもりです。各ツアーには日本語を話す‘アマチュア’のガイドを付ける予定です。彼女は統計学科の大学院生で、母国の文化は勿論、日本の文化にも触れた経験を持っています。「魔法の都(City of Magic)」と言われているこのプラハへの訪問は、歴史あるチェコの音楽(最後の項参照)と同様に、皆さんの忘れ難い思い出となることでしょう。

## プラハ城 (Prague Castle)

チェコ歴代王の居城であり、10世紀以来、町を統括してきた場所でもあります。広大な建物には1000年以上の歴史が刻まれています。城内の聖ヴィート大聖堂(St.Vitus's Cathedral)は、当初、フランスのゴシック様式として建築されましたが、時代と共に改修が加えられ、現在はロマネスク様式も共存している荘厳な教会です。また、王の夏の離宮であるベルヴェデーレ宮殿(Belveder)はイタリアン・ルネッサンス様式の建築物です。城内北東部に位置する黄金の小路(Golden Lane)には、おとぎ話のような小さな色とりどりの家が軒を連ねており、ハプスブルク家の堂々としたバロック式宮殿とは対照的です。建造物および庭園は、20世紀の独創的な装飾の数々で飾られており、四季折々のどのシーズンに訪ねても楽しんでいただけるとおもいます。教会や宮殿内の美しい調度品を見て回ったり、城内にいくつかある美術館や博物館の展示を見学していただいてもかまいません。もしくは、夏の日差しに映えた数々の尖塔で埋めつくされたプラハの町並みを眺めながら、午後のひと時を華麗な庭園でゆったりと過ごすのも良いでしょう。

美と歴史の満載されたこのガイド付きツアーには、カフェでの休憩も予定しています。庭園を散策したり、のんびりとくつろいだりしながら、素晴らしい城内をお楽しみ下さい。

### 旧市街 (Old Town)

チェコ人、ドイツ人、ユダヤ人およびその他の国の人、そしてまた、カトリック教徒とプロテスタント教徒といった、いろいろな人々がこのエリアに同居し、何百年もの歴史の中でそれらの文化を調合してきました。ここには、中央ヨーロッパで最も歴史の古いプラハ大学(1348年創立)があり、高等教育の中心として現在に至っています。また、ユダヤ教の教会や一種異様な雰囲気漂う旧ユダヤ人墓地の横に、ゴシック様式やバロック様式の教会が建っていたりもします。あの偉大なモーツァルト(Wolfgang Amadeus Mozart)が「ドン・ジョヴァンニ(Don Giovanni)」を初演したことで知られているエステート劇場(Estates Theatre)もここに 있습니다。世界で最も美しい広場と言われている旧市街広場(Old Town Square)の片隅では、有名な天文時計が時を刻んでいますし、作家フランツ・カフカ(Franz Kafka)の生家も広場から程近いところにあります。

キリスト教徒地区とユダヤ教徒地区の両方の魅力的なエリアを散策するこのツアーでは、美術工芸博物館(Museum of Applied Arts)か、もしくは、ロマネスク様式、ゴシック様式、あるいはバロック様式といった王族や貴族たちがかつて使っていた数々の調度品を展示した美術館を見学します。また、キリストの12使徒が窓の中に現れては消えていく天文時計が眺められるエレガントなカフェで休憩を取る予定です。最後には、旧市庁舎(Old Town Hall)の尖塔の最上階にエレベータで上り、高さ70mからのプラハの素晴らしいパノラマを堪能していただきます。

### マラー・ストラナ (Lesser Town, Mala Strana, 小地区, Little Quarter)

プラハ城の足下から南にかけて広がる一帯には、ルネッサンス期からバロック期にかけての貴族たちの宮殿や、丘陵地に作られた庭園があります。聖ニコラス教会(Church of St. Nicholas, 聖ミクラーシュ教会, Chram sv. Mikulase)はバロック様式の代表的な建造物であり、内部はフレスコ画や彫像で装飾されています。勝利のマリア教会(Church of our Lady Victorious, Kostel panny Marie Vitezne)には、有名な幼年期のイエス像(Infant Jesus of Prague)が安置されています。カンパ島(Kampa island)は混雑した表通りとは対照的に清閑で、多くの芸術家にとって生活の場であり、お気に入りの場所でもありました。ベートーベン(Ludwig van Beethoven)もプラハに滞在する時にはここに泊まっていました。ヴルタヴァ川(Vltava river)の支流 Certovka stream がカンパ島の西側に回り込んで流れている一帯は、プラハのヴェニスとも呼ばれており、ルネッサンス様式の粉挽き水車が今も回り続けています。他にも、この地区にはジョン・レノンの壁(John Lennon Wall)や可愛らしい橋、素敵な広場などが点在しています。

このプラハのロマンティックなエリアを散策するツアーは、プラハ最古の美しい石橋であるカレル橋(Charles Bridge)からスタートします。この橋の両側の欄干には、合計で 30 体のバロック様式の聖人像が並んでおり、戸外ギャラリーとしていつも観光客で賑わっています。橋のもとには荘厳なゴシック様式の橋塔がそれぞれ建っており、この上からカレル橋と聖人像を一望することもできます。カンパ島内の心地よいカフェで休息を取った後、教会を見学し、そのあとバロック様式の庭園で午後のひと時を過ごす予定です。

### 音楽の都 プラハ (Praga Musicopolis Europae)

プラハにおける音楽の歴史は、キリスト教の礼拝式の楽曲を記録した楽譜が作られはじめた 11 世紀までさかのぼることができます。その当時の最も貴重な楽譜はチェコの宗教民謡である「Lord, pour out Your love on us」でしょう。カレル 4 世(Charles IV)の時代(14 世紀後半)がプラハの音楽史上で最初の興隆期でした。16 世紀後半から 17 世紀前半にかけては、ルドルフ 2 世(Rudolph II)の宮廷オーケストラがヨーロッパで名声を博しました。

1787 年 10 月、改修されたノスティック劇場(Nostic Theatre)でモーツァルトが「ドン・ジョヴァンニ」を初演しましたが、これが現在のエステート劇場です。それからしばらくして、Konviktska 通りのプラハ・コンサートホールに、作曲のみならず演奏能力や編曲能力でも非常に評判の良いピアニストが出演するようになったのですが、彼こそがあのベートーベン(Ludwig van Beethoven)でした。

チェコ独自のオペラを作ろうという機運の基に Jan Harrach 伯爵によって創設されたコンクールで一躍注目を集めたのが、スメタナ(Bedrich Smetana)のオペラ「ボヘミアのブランデンブルク人(The Brandenburgers in Bohemia)」でした。彼はその後も「売られた花嫁(The Bartered Bride)」や「ダリボル(Dalibor)」といったオペラを発表し続け、これが後に「チェコ国民楽派」と言われるようになります。

1881 年 6 月 11 日にこけら落としとして、スメタナのオペラ「リブシェ(Libuse)」を上演した国民劇場(National Theatre)は、残念ながら 3 ヶ月後に火事で焼失してしまいました。しかし、国土全体からの強力な支援活動によって、2 年後には再建されました。

芸術家の家(通称ルドルフィヌム, Rudolfinum)には、「プラハの春」国際音楽祭のメイン会場となっているドヴォジャーク・ホールをはじめ大小のコンサートホールやギャラリーがあり、各種の音楽会や展示が盛んに行われています。ここはまたプラハ交響楽団の本拠地でもあります。この時期(19 世紀終り)には、チェコ室内楽協会やチェコ交響楽団も創設され、後者はスメタナやドヴォジャーク(Antonin Dvorak, ドヴォルザーク)、そしてまたチェコを代表する作曲家の作品を演奏しています。また、第一次世界大戦中の 1916 年 5 月 26 日には、レオシュ・ヤナーチェク(Leos Janacek) のオペラ「イエヌーファ(Jenufa)」がプラハで初演されました。

モーツァルトがドン・ジョバンニを完成させたことで知られるベルトラムカ(Villa Bertramka)というプラハ郊外にある屋敷は、後にモーツァルト協会が取得し、彼の記念館として一般に公開されています。1932年には「Amerika」と呼ばれる夏の離宮を改築してドヴォジャーク博物館(Antonin Dvorak Museum)が公開され、また、その4年後には、スメタナ協会が旧市街水道局の建物を改築してスメタナ博物館(Bedrich Smetana Museum)を開設し、それぞれの遺品や収蔵物を展示しています。1946年からは毎年5月に、傑出した芸術家を世界中から集めて「プラハの春」国際音楽祭が開催されています。

今、スメタナやドヴォジャークと言ったチェコの音楽史を飾る多くの芸術家は、小高い丘の上のヴィシェフラド墓地(Vysehrad)で眠っています。

(補足: この日本語の案内文は大会委員会が作成した英文を基に一部加筆して構成しました。  
よって、文中の間違いや誤訳の責任は林篤裕(hayashi@rd.dnc.ac.jp)にあります。)